

平成24年10月31日

朴木人間発達環境学研究科長の談話

このたび、本研究科博士課程に在籍していた学生から提出された学位論文に不正があったことが判明したため、博士（教育学）の学位授与の取消し及び学位記を返還させるという、前例のない事態が生じました。

今回の不正行為は、他者の論文等を無断で使用したものであり、研究とは新たな知を創造する活動であることから、この無断引用は創造活動を根底から覆す行為であり断じて許されるものではありません。

本研究科では、人間の発達及びそれを取り巻く環境に関わる教育と研究を積極的に推進しており、学生は日々研鑽を積んでいます。そのような中で不正行為が行われたことは学問への冒瀆と受け止めざるを得ず、残念至極であります。

本研究科としては、このたびの事態を重く受け止め、研究指導や学位審査体制について改めて検証するため、研究科内に不正防止委員会を立ち上げました。

今後、神戸大学の学位に対する社会的信頼を回復するため、再発防止に努めるとともに、学生に対するきめ細やかな教育指導を一層充実させるため、更に尽力する所存です。